



日吉台小の子 多くの人に支えられて

校長 吉井 宣明

令和4年度もいよいよ最後の月になりました。私が新任校長として、ここ日吉台小学校に着任してからまもなく1年が過ぎようとしています。駅や大学に近いという立地で駅の利用者や学生等、多くの人たちが行きかう町ですが、学校はとても落ち着いています。また歴史ある学校ですので、保護者や地域の皆様が卒業生というケースも多く、とても多くの人に愛されていると感じます。学校というところは、日々何か起こるものです。また感染症対策に代表される、様々な対応にも日々応じていくことにもなります。しかし、そんな日々を乗り越えてきたのも子どもたちの頑張り、保護者や地域の皆様のご理解ご協力の賜物と感謝しています。

日吉台小学校の子どもたちは、基本的に真面目で礼儀正しいです。廊下ですれ違うときにも挨拶ができます。中には、立ち止まってお辞儀をしてくる子もいます。家庭でしっかりマナーを教えていただいているのだと感じます。そんな子どもたちに感心することが多かったのですが、その中でも6年生は素晴らしかったです。引率として校外学習や修学旅行に同行することが何度もありましたが、どこでも立派な態度でマナー良く振舞っていました。運動会では、係活動を全うし素晴らしい働きを見せてくれました。先日、巣立ちの会がありましたが、そこでは運動、音楽、国語・外国語・歴史の学習のそれぞれのグループに分かれて、自分ができる最高のものを披露しようとしているのが伝わりました。最高学年として、最後まで立派でした。

学校は多くの人たちに支えられているのを感じることもできた1年でした。まち探検や社会科見学など、校外での活動にはボランティアの方が同行してくれ、道中の交通安全や活動の手伝いをしてくれました。花ボランティアの方は花壇の整備をいただきました。季節ごとのにさく花が心を癒します。図書ボランティアは図書室を整備してくれました。図書室前の芸術的な掲示には、いつも圧倒させられます。日吉の町の方には、ゲストティーチャーを引き受けていただくこともありました。商店街での調べ学習、環境へ配慮した取り組み、キャリア教育など、子どもたちの様々な学びになりました。PTAでは役員の方を中心に、広報誌の発行、テトラパックやベルマークの回収や送付作業等々。おやじの会では、子どもたちの為にウォークラリーや夏祭り等楽しい企画を考えてくれました。その他にも日々の登校の安全を見守ってくださる地域の皆様。

本当に多くの人に助けいただいています。本当にありがとうございました。来年度は150周年を迎えます。これからも本校は長い歴史を刻んでまいります。皆様のご支援ご協力を引き続きお願いいたします。

